

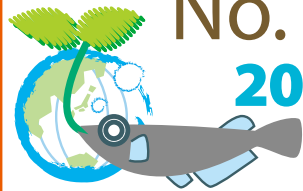
# 校庭の生きものたんけん

—ヤゴ・カエルのいるビオトープ—  
板橋第二小学校◎3年36人◎6/13

# SOE NEWS

## No.155

### 2019年 7月



## センスオブアース 市民による自然共生 パンゲア

平成27年度地球温暖化防止活動  
環境大臣表彰受賞団体



明け方、ヤゴから  
脱皮したトンボが  
教室の窓に



ヤゴの抜け殻



アズマヒキガエルが飼育小屋付近で散歩中

ビオトープの修理や、畑の大根栽培、世界の民族衣装の制作発表など、校内の環境教育の中核となって活躍する根本矢先生が、子どもたちと共に、校庭の生きものたんけんに取り組みました。

教室で紙芝居や、校内地図で自然の多い場所の確認の後、グループで探検へ。次々生きものを発見しては、カードにシールをはって、20分があっという間。校内地図へシールで記録し、発表の中でトンボの環境について討論しました。



修理した第二ビオトープ



校庭生きもの地図 《発見した生きもの》

- チョウ・トンボ・バッタ・クモ・鳥
- テントウムシ
- ダンゴムシ・カエル・オタマジャクシ・メダカ・ミミズ
- 花・落ち葉・アリ・木の穴・ヤゴ
- ナメクジ・バナナ虫
- 金魚・アブなど



《なぜ、第二ビオトープにヤゴがたくさんいたか？》

- ・えさがたくさんある・木などごちゃごちゃしている方はすみにくい・空気がすっとしているから
- ・水面が開けているところにトンボがくる・植物を植えすぎず、水面を出したから(根本矢先生)

## センスオブアース創立15周年記念 講演会身近な鳥・都市鳥の話 「東京VSパリ～緑地の歌い手たち」

講師：川内 博 氏 (都市鳥研究会 代表)  
日時：2019年7月20日(土) 15時～16時半  
場所：板橋区エコポリスセンター 視聴覚ホール  
参加費：資料代 200円／お申込は 直接会場で



キビタキ



メジロ



ミソサザイ

# 大豆ってすごいぞ 板橋第二小学校◎3年生36人◎6月25日

## 「大豆を栽培しよう」大豆の種の観察～苗の定植



大豆の学習の後、栽培。秋の収穫後、もちろん、みそやとうふ、油揚げなど作りたいと、張り切って観察。教室で育ててきた苗と SOE が育てた苗をみんなで学校園やプランターに定植しました。子どもたちの強い関心が、栽培と共に、意外にも種の中身にも、ありました。

☑大豆はいろんな栄養になるということがすごい。☑大豆はどうやって根粒菌に栄養をあげているのか考え

たい。☑大豆にカルシウムとかがあったのが驚き。☑家で育ててもっと育ち方を知りたい。☑大豆はしょうゆになるのが初めて知った。☑大豆はもやしになるのか。



☑水にぬらすと元の大きさの2倍ぐらいになること。☑どうやって大豆、枝豆になっていくのか。☑2000年前から大豆が食べられていること。☑もっと調べたいことは大豆の中身。☑とうふやしょうゆはわかったけど、油揚げや豆乳が大豆からできるということが驚き。☑大豆を切って中身を見たい。枝豆の中も見てくらべたい。☑ひげのようなもの(出てきた根)が取れると二度と生えてこないことが驚き。☑枝豆を我慢

すると大豆ができるのは、初めて知った。☑大豆の原理を知りたい。☑水にぬらしたら、芽がでると知った。☑きな粉は大豆で作られていたなんて。☑大豆になったらどんな音がするのか観察したい。☑大豆を育てて、収穫して、大豆を食べて残してまた埋める。☑どうやって生えたか知りたい。☑よく食べているニンジンの種を調べたい。☑大豆の根っこを調べたい。





# 大豆ってすごいぞ 高島第五小学校◎3年生17人◎7月2日

## 「大豆を栽培しよう」大豆の種の観察～苗の定植

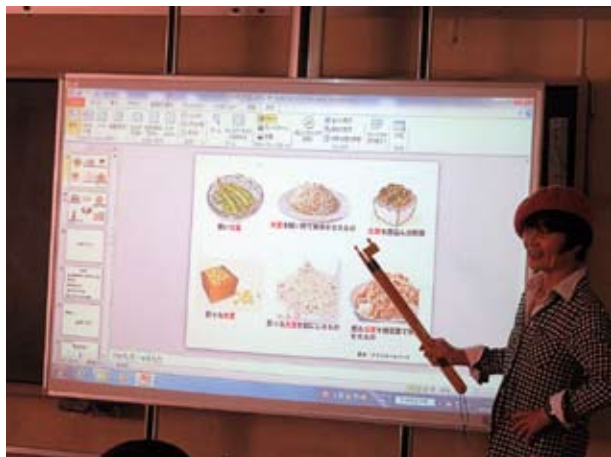


板二小3年生に続き、高島第五小3年生も、大豆の栽培に取り組みました。畑は川村校長先生が耕しておいてくれました。大豆の学習の後、種の外と、中身も観察すると、何か根のようなものが見えます。観察画に集中して飽きることがありません。よく見えています。

☑種が小さいけど、ぐんぐん伸びるのが驚いたこと。  
☑根っこがどうやって伸びるのか調べたい。  
☑大豆に栄養がすごくあること、外国から輸入していること。  
☑小さい豆が大きくなるなんてびっくりした。  
☑（大豆は日本で少ししかとれていない。）大豆をみんなで育てればよい。  
☑水につけた大豆、ひらいてみたら、根が見えた。  
☑ひらいてみたとき、根があった。うれしかった。



《三浦美樹先生より》大豆を育て、そのあと、いろいろなものができる(姿を変える)ことや、栄養などいろいろな情報を知り、より育てる意欲が高まった。水に浸した大豆を観察するときに、大豆の「おへそ」に着目、半分にわり、中身をよく見て、さらに筋のようなものに着目させ、それが何になるか予想を立てさせたところが世話をする意欲につながったようだ。進んで観察に行ったり、家でも行ったりしていた。



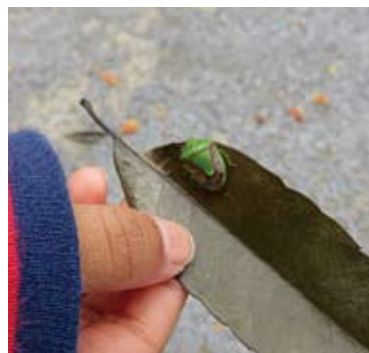
# 原っぱのかくれんぼ —生きものさがし—

ほっぺらんど成増保育園◎3～5歳児21人◎6/11

5歳児は4人、4歳児12人、3歳児5人という、特別編成で、積極的な生きものさがしに、上赤塚公園に出かけました。おにごっこだって、なんでも3歳児もできてしまうのに驚き。みんなでなかよしグループで、一見生きものが見つかるか心配した公園で、しっかり見つけました。

## 見つけた生きもの

アリ・テントウムシ・チョウ・ダンゴムシ・花・赤い虫・バッタ・クモ・テントウムシのあかちゃん・カメムシ・カラス・ツツジの花



# 原っぱのかくれんぼ —生きものさがし—

区立新河岸保育園◎3～5歳児30人◎6/20  
3歳児11人・4歳児11人・5歳児8人◎徳丸橋公園

すぐそばにある、新河岸川近くの徳丸橋公園で、活発に「キロリのおにごっこ」と生きものさがしをしました。驚くのは、3歳児も、とても静かに紙芝居を聞けることです。ミミズ・ダンゴムシ・ハト・クモの巣・木の穴・いい匂いの花・赤いは・木の実などを見つけ、どの子も発表できました。



《先生方より》  
「おにごっこ」から生きものさがしへ広げる内容が良かった。子どもの声を引き



出していただき満足したと思う。子どもたちがとても楽しめていた。においをかぎ、木の穴を見つけるなどの経験がよかった。布の袋の宝探しなど、おもしろいと思った。保育にとりいれたい。

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052  
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp